



# 志免町民図書館おすすりめ本 No.18



テーマ

『おもいやり』



令和6年10月発行



ねんせい  
1・2年生

## 『バスがきましたよ』

JE / パ

ゆみむら きき さく  
由美村 嬉々 / 作

アリス館

まつもと はるの え  
松本 春野 / 絵

病気で目が見えなくなった男性が、小学生にたすけられながらつづけた、バス通勤。「バスがきましたよ」その声はやがて、次々と受けつがれる。あたたかな小さい手が人々の心をうごかした、ほんとうにあったおはなし。

## 『チ・ヨ・コ・レ・イト!』

J 913 / パ

ばん ひろこ / 作 丸山 ゆき / 絵 新日本出版社

だんちの3階の階段で、第のこうすけが知らないおばあさんとおじいさんといっしょにすわっているのを見たみさき。おばあさんとおじいさんは3階でひとやすみして、また階段をあがるのです。こうすけは2人となかよしになって…。



ねんせい  
3・4年生

## 『小学生のための論語』

J 123 / サ

～声に出して、わかって、おぼえる!～ PHP研究所

さいとう たかし さく  
齋藤 孝 / 作

「信なくんば立たず」「学べば則ち固ならず」など、子どもの頃から慣れおきたい「論語」のこたばをテーマ別に紹介。声に出して読むための書き下し文のほか、原文・意味・やさしい説明も収録。

## 『じったんのオムライス』

J 913 / オ

おおくぼ みゆき さく  
大久保 美行 / 作

くもん出版

おおの やよい え  
大野 八生 / 絵

ママが自転車で転んで指を骨折してしまい、夕飯は料理が得意な兄の真人がつくることに。弟の隼人はママのお父さんのじったんに料理を習って、ママの誕生日にオムライスをつくることにしたが…。

## 『ことりのピピとじょうろくん』

JE / コ

ひぐち 紀 / 作

みらいパブリッシング

やました あい え  
やました 愛 / 絵

つかい古されて、からだにひびが入ってしまったじょうろくん。天使のつかいのことりのピピは、うつむくじょうろくんのために、あることを思いつく。ピピは、そのひびをつかって、きせきをおこす。

## 『一さつのおくりもの』

J 913 / モ

もりやま みやこ さく かもした じゅん え  
森山 京 / 作 鴨下 潤 / 絵

こうだんしゃ  
講談社

クマタは、「かいがらのおくりもの」というえほんが大すきです。一日に一どは、かならず手にとります。えほんの中の、キツネの子とほんとうのともだちになったきがするほどです。でも、ある日、クマタは大すきなえほんを、大雨のひがいにあった村のこどもにおくるけっしんをします。

## 『ひとりかもしれない』

J 913 / イ

いわせ しょうこ さく  
岩瀬 成子 / 作

フレーベル館

ははおや さいこん てんこう  
母親の再婚で転校することになった小4の女の子、かい おな おさな おさな たかひろ き  
貝。同じクラスで幼なじみの高広が気になっていたが、せり たかひろ す  
世里も高広を好きみたいだ。実の父親のことや、学校でのことを思い出して、貝はひとりぼっちになった気がして…。

## 『オポッサムはないてません』

J 933 / タ

フランク・タシュリン / 作・絵

だいにほんとしよ  
大日本図書

こみや ゆう やく  
小宮 由 / 訳

ある森に、いつもにこにこわらっている、ごきげんなオポッサムが住んでいました。そこに人間たちがやってきて、ぶらさがってるオポッサムを見て、「なんだかかなしそう」といいました。にこっと笑った口元をフニャッとさがっていると、かんちがいしたのです。人間たちは「なんとかしてあげなくちゃ!」と、オポッサムをまち町につれていきますが…。

